

「学び合い 高め合い 認め合い 夢と希望を育む小鹿野小学校」

# 学 校 だ よ り

学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子  
小鹿野町立小鹿野小学校 第8号 平成29年11月1日発行

校長 矢 嶋 泰

月日がたつのは早いもので、平成29年度の2学期も折り返しの11月となりました。ついこの間まで半袖でも暑い日々でしたが、長袖、さらにその上に上着を着ても肌寒いという日も多くなってきました。寒い冬に向けて、校庭の木々も徐々に紅葉で赤や黄色に染まっています。季節の変わり目、学校の活動に常に参加できるようお子様の体調管理にご配慮いただき、2学期の残り2か月もご協力よろしくお願いいたします。

## ～学びを進める11月へ～

10月は、仲良し体育祭での6年生の活躍、各種地区展覧会において本校児童の優れた力の発揮等、対外的に多くの成果を上げてもらいました。11月は、校内音楽会や読書活動の充実、持久走記録会など校内で力を発揮してもらう行事が多くなります。

今月は、日頃の教室での学習に加えて、周りの友達からの学び、本からの学びを自分の力に変えていってほしい月と考えます。以前の学校だよりも書かせていただきましたが、自分の外からの学びを吸収するためには自身の理解する力も必要となりますが、外の優れたものを受け入れる「素直さ」がまず第一に必要になってきます。すばらしいものを「すばらしいと」感じる素直さ、すごいものを「すごい」と認める素直さも一人一人の子どもに大切にしていってほしいと思っています。

この素直な心を育てていくのは、日常の周囲からの褒め、認めだと思えます。

「〇〇さんは、いつでもすばらしいあいさつですね。」

「〇〇さんの今の発表は、みんなのためになるとてもいい考えでした。」

「〇〇さん、いつも一生懸命そうじありがとう。きれいになったね。」

「〇〇さん、マラソンの時の真剣な顔がすばらしいです。頑張ってるね。」 など。

小鹿野小学校の全教職員は学校生活の中で一人一人の児童に対する褒め、認める場面を大切に考え、逃さぬよう日々取り組んでいます。11月は、教育週間、校内音楽会、持久走記録会、授業参観等、保護者・地域の皆様に来校いただく機会が多くあります。児童が一生懸命活動する姿を見ていただくと共に、児童の心をさらに育てる機会ととらえ、上記内容につきましてのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ～小鹿野小学校のみんなのあいさつが進化しています～

10月の朝会で、「あいさつのキャッチボール」をしようと全校児童と話し合いました。それからすぐに以前よりも、よいあいさつに変わってきました。それは今でも続いています。毎朝、子どもたちとあいさつをするのが、より楽しみになっています。うれしいことです。